

休日当番医など(9月1日~10月15日)

地域医療課 ☎27-8572

休日 当番医 9時~17時

9月	3日(日)	吉田まさふみ整形外科	平 仲 間 町	24-7600
		石井脳神経外科・眼科病院	小 名 浜 林 城	58-3121
		こうじま慈愛病院	錦 町	63-5141
		かもめクリニック	草 木 台	28-1010
	10日(日)	下遠野内科胃腸科クリニック	内 郷 内 町	27-1111
		にしやま耳鼻咽喉科医院	泉 玉 露	56-8733
		榎田病院	植 田 町	63-3202
	17日(日)	いわき湯本病院	常 磐 湯 本 町	42-3188
		山口医院	平 作 町	24-1811
		磐城中央病院	小 名 浜 南 富 岡	53-3511
18日(月)	呉羽総合病院	錦 町	63-2181	
	大楽クリニック	常 磐 白 鳥 町	85-5916	
	中村病院	小 名 浜 大 原	53-3141	
	松崎内科	植 田 町	63-3358	
23日(土)	常磐病院	常 磐 上 湯 長 谷 町	81-5522	
	須田医院	小 島 町	27-6060	
	かしま病院	鹿 島 町 下 蔵 持	58-8010	
	佐藤マタニティークリニック	勿 来 町	65-6900	
24日(日)	いわき草木台総合クリニック	草 木 台	28-1145	
	高坂脳外科クリニック	内 郷 宮 町	85-0333	
	すみたか内科クリニック	泉 町 滝 尻	75-1560	
	榎田病院	植 田 町	63-3202	
10月	1日(日)	箱崎医院	常 磐 関 船 町	42-3131
		山口医院	平 作 町	24-1811
		ふかや耳鼻咽喉科	小 名 浜 住 吉	58-1187
	8日(日)	呉羽総合病院	錦 町	63-2181
		せき整形外科クリニック	常 磐 西 郷 町	84-9905
		小林胃腸科・肛門科医院	小 名 浜 元 分	53-4466
	9日(月)	矢吹病院	佐 糠 町	63-1818
		いわき湯本病院	常 磐 湯 本 町	42-3188
		石井脳神経外科・眼科病院	小 名 浜 林 城	58-3121
		おおはらこどもクリニック	東 田 町	63-0001
15日(日)	常磐病院	常 磐 上 湯 長 谷 町	81-5522	
	須田医院	小 島 町	27-6060	
	山口医院	平 作 町	24-1811	
	やまぐち整形外科	鹿 島 町 走 熊	29-7000	
		榎田病院	植 田 町	63-3202
		織内医院	常 磐 関 船 町	44-1133

※症状によっては、専門外となる場合もありますので、不明な場合は、当番医療機関へお問い合わせください。

日曜 小児専門当番医 9時~12時

9月	3日	福田小児科医院	平 下 荒 川	22-4272
	10日	相原小児科医院	内 郷 御 殿 町	26-5551
	17日	むらまつ小児科	常 磐 関 船 町	72-0707
10月	1日	しがこどもクリニック	鹿 島 町 久 保	58-5505
	15日	こない子供クリニック	小 名 浜 岡 小 名	73-8815

※変更となる場合がありますので、事前に当番医療機関または消防テレホンガイド(☎23-0119)へお問い合わせください。市ホームページでも公開していますので、ご覧ください。

休日 診療協力医

【内科】
山口医院(平作町)
9時~17時 ☎24-1811

9月 3日
須田医院(小島町)
8時30分~12時 ☎27-6060

9月 10日、23日・24日
10月 8日

【整形外科】
相田整形外科(平中平窪)
9時~12時 ☎35-0808
9月 17日

【皮膚科】
大田皮フ科医院(四倉町)
9時~12時30分 ☎32-2787
9月 23日

【泌尿器科】
常磐病院(常磐上湯長谷町)
9時~15時 ☎81-5522
9月 3日、10日、17日、23日・24日
10月 1日、8日、15日

【婦人科】
いわき婦人科(内郷綴町)
9時~12時 ☎27-2885
10月 9日

【眼科】
中央台たなか眼科(中央台高久)
9時~14時 ☎29-1722
9月 3日、10日、17日、24日
10月 1日、8日、15日

【耳鼻咽喉科】
おおいし耳鼻咽喉科(内郷綴町)
9時~12時 ☎45-3387
9月 23日

※この他にも休日に診療している医療機関がありますので、あらかじめかかりつけの医療機関などで確かめてください。
※診療の受け付けは、診療終了時間の30分前までとなります。

休日夜間急病診療所【内科・小児科】

総合保健福祉センター隣 ☎27-1208
平日：20時~23時 土曜日：19時~23時
日曜日：14時~18時、19時~23時
祝日：9時~13時、14時~18時、19時~23時

※患者・医療従事者間における感染拡大防止のため、新型コロナウイルス感染症・インフルエンザの検査は実施していません。

休日救急歯科診療所

総合保健福祉センター内 ☎27-8620
日曜日、祝日：9時~12時、13時~16時
(受付終了時間15時30分)

県子ども救急 ☎024-521-3790または
電話相談 #8000(プッシュ回線・携帯電話)
毎日 19時~翌朝8時

県救急電話 ☎024-524-3020または
相談 #7119(プッシュ回線・携帯電話)
毎日 24時間対応

●かかりつけ医を持ちまじょう

●「ハム」取寄せまじょう

●救急車は適正に利用しまじょう

市民の健康教室

提供・問い合わせ
(-社)いわき市医師会 ☎38-4201



糖尿病や高血圧の方の透析導入が増えています。生活習慣を見直してください。

科学の力は偉大であり無限の可能性を秘めています。高度な医療の普及のおかげで平均寿命がどんどん伸びてきました。しかし、それに伴って医療費が増加しています。少子化が、生産人口当たりの医療費をさらに急峻に増大させています。

腎不全の治療である血液透析も増加しています。腎不全とは、腎臓の機能が生命を維持させるには不十分であることを意味します。腎臓の機能は、体液のバランスをとることです。血液中の老廃物

形成外科医療録⑥

胸部と形成外科

胸部の形成外科疾患は、まず乳房の疾患が挙げられます。代表的なものが、乳がん手術後の乳房再建です。再建には、人工物による再建と自家組織による再建があるのがご存知でしょう。

他に乳腺関連では、副乳という疾患があります。脇から乳輪を通して、そけいに至る線上(ミルクライン)に乳腺組織が残り、黒子やしみのように見える小さなものから、明らかに乳輪・乳房と分かるものまであります。副乳は男女ともに発生しますが、女性では生理に関連して痛みを伴うこともあります。乳頭が隠れてしまう陥没乳頭では、そのままでは授乳の際に母子ともに影響が出るので手術が必要となります。

胸の形の変形には、胸部が陥凹する漏斗胸と突出する鳩胸があります。漏斗胸治療が可能な医療機関は限定されています。

腋臭症(わきが)の外科的治療を行うのも形成外科です。脇や殿部に多発する化膿性感染症(慢性膿皮症)の患者さんも少なくありません。

かかりつけ医の紹介・相談は、医師会事務局へ(ホームページURL <https://www.iwaki.or.jp>)

を尿として排泄し、有用な成分を再吸収します。塩分や水分、糖の出し入れを調節しています。

血液透析は腎臓機能の破綻した患者さんには福音です。透析療法の進歩のおかげで透析患者さんも長期間安定した生活が送れるようになりました。

かつては透析に至る患者さんの大半は腎炎でしたが、最近では、腎炎以外の患者さんの割合が増加しています。運動不足やカロリーの過剰摂取による糖尿病、塩分過剰摂取による高血圧、心不全などがその代表です。人口の高齢化もその要因の一つです。

職場健診や住民健診により、高血糖や高血圧などが発見されれば、精密検査を経て内服薬を含めた生活指導がなされます。しかし、定期通院、定期内服だけをしていれば安心かというところでもありません。適度な運動、禁煙、塩分制限に留意し、肥満、過剰な水分摂取などにならないよう日頃から気をつけることが大切です。

血液透析は長期にわたり、日常生活も制限されます。血管も脆くなっており透析のための血管確保も困難になってきます。

透析にならないためには、生活習慣に気を配って健康を維持させてください。

けんこうQ&A 循環器科⑥

「心不全」を理解し、防ぎ、守り、共に生きるために知っておくべきこと

Q 大動脈弁狭窄があると言われました。何の症状もなく、元気に運動もしていますが、治療は必要でしょうか?

A 大動脈弁狭窄症は高齢化社会において大変増加している疾患で、いわゆる老年病(退行性変性)の一つとして有名です。75歳以上の一般の方で大動脈弁狭窄を持っている人の割合は12.4%、うち手術が必要な重症例は3.4%と言われています。

診断のきっかけは聴診で心雑音を確認することです。かなり進行するまでは無症状の場合が多く、残念ながら症状(めまい、失神、胸痛、息切れなど)が出始めた頃には、既に重症化していることがほとんどです。しかし、手術により、合併症も少なく、安全に治療できる時代になっています。まずはきちんと受診をして、適切な間隔で検査と評価を受けることをお勧めします。